

## 教科の面白さを発信！！

全校生徒を対象にオンラインで、毎週金曜の朝自習の時間、各教科担当がその教科の面白さを伝える試みを行っています。

### ○教諭（英語）

自身がスリランカに行った経験について話しました。まずは現地の人の生活をまねること。例えば、裸足で踊ったり、手で食事をしたりなど。そうしているうちに、現地の子供たちが言葉を教えてくれるようになった。本校のALTもアメリカから秋田に留学し、日本語が流暢になった。外国語を学ぶことは、人とつながるための手段であり、良い出会いが待っていると伝えていました。



### H教諭（保体）

スポーツには、スポーツを「する」「みる」「ささえる」「しる」の楽しみ方があると伝えていました。実際にバレーボールをする楽しさ、試合を支える審判や報道、その報道を見た知り知ったりする楽しさがあるとのことでした。そして、最終的にスポーツを通して、人と人がつながることがスポーツの良さであると話していました。



クイックを打つ元生徒会長



バレー部の協力

### N教諭（数学）

世の中にある様々な数値には、規則性があるものかないものが混在していると話していました。規則があるもの（カレンダー）には、その背景に数列という考え方があり、規則性のないもの（株価、円周率）にも、人間が生活する上で選択を繰り返すことで生まれた結果としての数値であると説明していました。



今年度、各教科担当が「〇〇科は生活や社会でどのように役立っているのか」、「どのような人が〇〇科の存在に寄与してきたのか」などを発信してきた。また、「なぜ教師になったのか」、「この教科を通してきみたちに何を伝えたいのか」など、生徒は普段聞くことができない一人一人の教師の根幹となる思いに触れ、教科の魅力のみならず、一人の人間としての教師の魅力をも感じ取ったと考えている。